

《自社と他社の出願動向から将来を予測し先手を打つ》 時系列課題解決パテントマップを用いた 競合企業の技術動向分析と自社特許強化策

●日 時● 2016年 1月 13日(水) 10:00 ~ 17:00
●会 場● 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』 TEL 03-5215-3511

講 師 独立行政法人 産業技術総合研究所
ナノシステム研究部門 技術専門職(知的財産) 栗原 健一 氏

【経 歴】(株)リコー等で知財実務経験 30 年。この間、発明発掘から権利化、ライセンス、日米特許訴訟、特許情報の活用推進などの各種活動に従事。ボールスプライン事件原告勝訴側責任者など複数企業での知的財産部要職、トムソンダウエント等でのコンサルタント、研究員を歴任。パテントマップを活用した戦略的発明の抽出を得意とする。講演、著作等多数。現在、(独)産業技術総合研究所で知財業務、技術移転業務を行う。

◆ 開催にあたって

技術開発競争に勝つためには、強い特許網を構築し、他社の参入を防ぐことが有効な手段の1つです。そのためには競合企業の技術動向を常に分析し、将来出願してくるであろう特許を予測したうえで、自社の技術開発戦略を策定する必要があります。

本セミナーでは、従来の代表的な特許出願の分析手法ではなく、技術課題並びに解決手段の推移を時系列でまとめた「時系列課題解決パテントマップ」をもとに競合企業の技術動向分析の仕方を解説いたします。また、そこからどのように自社の特許を強化していくのか、その具体的施策についても解説していきます。

最後に、ケーススタディとして誰にでもわかりやすい「即席めん」を事例として分析手法を体得していただけます。基礎からわかりやすく解説いたしますので、知財部門の方はもちろん、研究開発部門・事業部門の技術者の方など、特許を通じた技術動向分析に興味のある方のご参加をお待ちしております。

●受講料● 1名(税・昼食・資料代含む)

正会員	39,960 円	本体価格 37,000 円
一 般	45,360 円	本体価格 42,000 円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書を FAX にてご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

●お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当：横谷 E-mail: yokoya@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3513 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ(https://www.bri.or.jp)からもお申込みいただけます。

*FAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

151753-1010	2016.01.13		
申込書 競合企業の技術動向分析と自社特許強化策			
会社名	フリガナ		
住 所	〒		
ご氏名	フリガナ	所 属	
		役 職	
TEL		FAX	
E-mail			

*お客様の個人情報、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

時系列課題解決パテントマップを用いた

競合企業の技術動向分析と自社特許強化策

●プログラム●

10:00

I. 「時系列課題解決パテントマップ」を使って競合企業の手の内を知る有効な手法と考え方

- ・ 検索手法（F I、F ターム）、情報の仕分け、整理、まとめ方、表現等

II. 競合他社の技術動向から自社の強み・弱みを把握する

- ・ 強み・弱みの把握の方法と検討

III. 他社特許の評価・見方

- ・ 技術課題の推移の分析
- ・ 商品化の見極め
- ・ 国内優先出願、分割出願、早期審査、審判

12:00

昼食休憩

13:00

IV. 技術開発競争に勝つための特許強化に向けた具体的施策

(1) パテントマップを用いた自社出願の棚卸しと自社出願の評価

(2) 競合他社の市場参入を防ぐ特許強化へ向けた方針の策定

- ・ 国内優先出願、分割出願、早期審査、審判

～特に分割出願の重要性を理解する

(3) パテントポートフォリオの構築

- ・ 技術課題の展開を図る
- ・ コア技術の展開を図る

(4) 研究開発部門の知財力強化を図る

- ・ パテントマップの作成と分析力を向上させる
- ・ 特許網のデザイン力を向上させる（特にマネージャー）
- ・ 特許請求の範囲（クレーム）の作成力を向上させる
- ・ 技術者自らの発明力（クレームの作成力）が開発力を向上させる

《演習》 具体的ケース「即席めん」を用いながら技術動向と競合企業を分析する

【演習ケース】「即席めん」

演習のステップ

① 演習に関する説明と演習ケースのポイント解説

↓

② 演習ケースに関する特許公報を確認し、特許マップを検討

↓

③ パテントマップを基にしながら演習ケースを検証

17:00